

■ 県内分布

佐用町

■ 国内分布

本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	



■ 特記事項

ー

■ 保護上の留意点

ー

■ 種の概要

体は大型で、緑色から暗緑色。茎は長さ20-40mmで、大型の透明、薄壁の表皮細胞があり、基部は多くの仮根に被われる。葉は長さ約2.5mm、鋭頭、乾くとやや巻縮し、縄状に配列する。葉縁は平坦で、葉の上部2/3-3/4で明瞭な大きな鋸歯が出る。上から中部の葉身細胞は方形から広楕円形で、6-15個の小パピラがあり、輪郭は不明瞭。葉縁の鋸歯の細胞はほぼ平滑で厚壁。葉基部の細胞は伸長し、厚壁で透明から淡褐色。中肋は葉頂に達する。葉腋に暗緑褐色の長さ400-500μmの無性芽が1-3個つく。無性芽は楕円体で先端が尖り、表面はざらつく。胞子体は未知。石灰岩地の日陰のやや湿った岩壁、岩上に生育する。